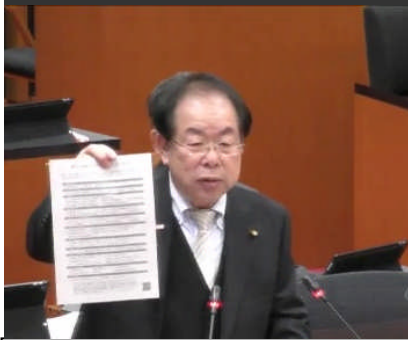


山岡光広・西山実議員が一般質問

山岡光広議員



◆視覚障害者の福祉施策について ◆通学バスの補助制度 ◆コミバス・コミタク再編問題について ◆国民健康保険税の今後について

西山実議員



◆有機フッ素化合物の検査について ◆コンクリートブロックや石畳の歩道、道路の改修について ◆水口細工の保存・伝承を

問 視力が低下したり視野が狭くなったりする視覚障害者。高齢になるほど多い。その実態と福祉施策(行動援護、広報などの音読)の充実、音響信号機の整備を。
健康福祉部長 視覚障害者手帳保持者は216名。うち70歳以上が63%、重度の方が高齢者に多い。行動援護の利用は35名。音響信号機は現在8か所に。今後整備を追加要望していく。

問 通学バスを利用してはいる子どもへの補助拡充を。補助対象外は市内で11名。
教育部長 乗車を希望する児童全てが利用できるだけのバスが現時点では確保できないので見直しは困難。

問 4月からのコミバス再編は、多様なニーズに配慮するといながら実際は廃止・減便。利用者の意見を聞き、改善すべきはすぐさま改善すべき。
建設部長 運転手不足やドライバーの2024年問題で再編は必要。利用者からの意見や要望を聞いて柔軟に改善を図っていく。当初、予約制デマンドに移行する予定だった甲南環状線や土山の路線については廃止せず、現行のままとする。

問 国保税率の県内統一は、値上げとなるだけ。国と県が財政支援して引下げよ。
市民環境部長 令和9年度税率統一となれば、引き上げは検討せざるを得ない。

問 いま全国的に問題となっている有機フッ素化合物。残留性が高く、発がん性など人体への悪影響が指摘されており、県内の河川や水道水から検出されている。甲賀市における検査の状況を伺う。
市民環境部長 河川は国・県により、野洲川、大戸川、信楽川が検査されており、最大値は22ng/L。また、上水道課が実施する、水源地など17か所の井戸等で採水した「原水」及び13か所から採水した「水道水」の最大値は11ng/Lといずれも国が設定する指針値50ng/L以下となっている。

問 コンクリートブロックや石畳は、見栄えは良いものの、経年劣化により凹凸になると歩行者や自転車がかかり危険。笹が丘地先の歩道の凹凸の早期の改修を。
建設部長 令和4年度以降、修繕工事を実施しており、今後も改修を継続する。

問 甲賀市として水口細工を地域の文化として保存・伝承を。また、年々収穫量が減っている原料の葛つる、アオツヅラフジの採取の協力を求める。
教育部長 水口細工は、昭和40年代まで地域の代表的産業であったことから、水口歴史民俗資料館で所蔵する企画展を開催する等、保存・伝承に努めている。引き続き水口細工復興研究会の活動を支援し、保存・伝承とともに、原料調達に協力する。



令和9年度に県が税率統一(11年度まで移行期間)

国保税引き上げやめよ

日本共産党の緊急申し入れは、国と県が財政支援して国保会計を支え、国保税引き上げを抑えること、18歳までの均等割を無償化すること。ところがこの日の交渉で、「(県内統一となれば)すべての市町の国保税が引き上げとなる」と答弁。国保の構造的危機打開どころか、国保加入者に負担増となるだけです。

滋賀県は令和9年度から県内市町の国民健康保険税率などを統一しようとしています。統一化になれば、いまでも高すぎて払えない国民健康保険税が大幅に引き上げられるため、日本共産党滋賀県地方議員団が1月19日、県に引下げを求め緊急申し入れしました。

山岡 新年度予算では、私が一般質問で指摘した加齢性難聴に伴う補聴器購入に補助、西山議員が最初に取り上げた水口御成橋付け替え工事、岡田議員が取り上げた産後検診が制度化されるなど市民の願いが一定盛り込まれた。

岡田 予算常任委員会でも共通して意見が出た予算編成における事業の練り上げ、熟度の低さが際立った。

西山 道の駅土山を約20億円も使つてつくる必要があるのか、も問われた。それに民間移行・アウトソーシングも目立った。市民センターの指定管理、シルバー委託、大規模こども園への移行。地域包括支援センターもみなくち診療所も民間に。これで本当に自治体の責任を果たしているのか、と思う。

山岡 意見書では、あれだけ国民の関心となっている裏金問題の真相解明を求める意見書に、自民党誠翔会・公明・凜風会が反対したのは驚いた。

岡田 自民党に自浄能力がない。与党も含めて地方組織に批判する力もない。

西山 全く、市民の願いに背をむけている。議員の役割が問われていると思いますよ。